川崎大師ロータリークラブ週報

例会場：大本山川崎大師平間寺信徒会館
例会日：毎週水曜日　PM12：30
事務局：〒210-0812 川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F
Tel.044-277-7569　Fax.044-288-8550
URL http://kawasakidaishi-rc.com/　E-mail:daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 42 期
会　長　竹中裕彦
副会長　坂東保則
幹　事　岩井茂次
ＳＡＡ　飯塚元明

第 2042 回（本年度　第 36 回）　例会　平成 27 年 4 月 1 日　　曇り

●司会　飯塚　元明　ＳＡＡ
●点鐘　竹中　裕彦　会長
●斉唱　♪ソングリーダー　石渡　利治　会員
「君が代」「奉仕の理想」

来訪ロータリアンの紹介　矢野　清久　親睦委員長

本日来訪ロータリアンの方はおりません

本日のゲスト

田中　ソロウェイ　明美　様
Ｐａｕｌ　ａｌｇａｒ　様
Ｒｏｗａｎ　Ｍｕｒｐｈｙ　様

今週の花言葉　横山　俊夫　会員

薔薇（バラ）白色　　花言葉・・・「清純」

薔薇も色によって花言葉が違う。歌にもあるように、百万本の薔薇・バラが咲いた・君は薔薇より美しい・バラ色の雲など女性の心を射止める花・・・

会員入会祝

安藤　賢一	会員	１９９２年　４月１５日
中村　眞治	会員	１９９６年　４月１０日
岩井　茂次	会員	２００４年　４月　７日
水口　衛	会員	２００５年　４月　６日
中村　孝	会員	２０１３年　４月　３日

会員誕生祝

布川　二三夫・久保　榮弘・大藪　善一・石渡　利治
石渡　勝朗・中村　孝・宮沢　和徳・出井　宏樹
猪狩　佳亮・松本　和晃・松井　昭三　　各会員

会員奥様誕生祝

須藤　宏	会員奥様	奈保子　様
大藪　善一	会員奥様	紀子　様
鈴木　昇二	会員奥様	順子　様
宮沢　和徳	会員奥様	菜生美　様
内田　省治	会員奥様	代里子　様

会長報告　　竹中　裕彦　会長

ＲＩより岩井幹事へ金澤会員の紹介者としてスポンサーピンとブルーバッカーが届いております。引き続きクラブの将来を見据えてご協力を宜しくお願い致します。

幹事報告　　岩井　茂次　幹事

① ４月のロータリーレートは３月と同じく１１８円となります。
② ガバナー月信４月号が届いておりますので、配布いたします。
③ 昨年１１月に開催された「第３７回かわさき市民祭り」の記録誌が届いておりますので、回覧いたします。
④ クラブ会費の第４期分請求書を発送いたしましたので、お支払いをお願いいたします。
⑤ 昨日、当クラブの「例会変更」および「４月の例会日と内容」を配信させていただきましたので、ご確認ください。併せて、」他クラブの「会報」、「例会変更」が届いておりますので回覧いたします。

委員会報告

次年度会長　　竹田　正和　会員

3/31 日、ソシア 21 にて会長エレクト研修セミナーにさんかしてきました。
3/29 日、聖光学院にて地区協議会に参加しました。
参加の皆様大変お疲れ様でした。

情報委員会　　横山　俊夫　委員長

4/2 日のＣグループ、ファイヤーサイドミーティングの場所が変更になっております。
松の樹からモナリザンになっていますのでお間違いの無いようお願い致します。

出席報告　　前田　良賢　出席委員長

2042	回	61	49	36	13	73.47	%
2040	回	59	46	27	19	58.70	%
前々回の修正・メークアップ				9	修正出席率	78.26	%

メイクアップ

宮山　光男・野沢　隆幸・林　　鶴・細谷　重徳
横山　俊夫・水口　衛・船木　幸雄・大﨑　克之
岩井　茂次　　各会員

スマイルレポート（ニコニコボックス）　　坂東　保則　副会長

安藤　賢一　会員

今期入会者、現在６名です。あと４名必ず増強しましょう。
高木鋳工社長、八潮見ＳＳアプローチしています。
知っている人いましたら協力ねがいます。

松井　昭三　会員

再入会させて戴きました。宜しくお願い致します。

竹田　正和　会員

3/29 の地区研修協議会参加の皆様大変お疲れ様でした。
又代理出席の各位には大変感謝しております。
横山、渡辺ご両人の卓話楽しみにしております。

小林　勇次　会員

今日から息子が新社会人に成りました。

横山さん、渡辺さん卓話宜しくお願い致します。

牛山　裕子　会員

横山、渡辺両パスト会長の卓話楽しみにしております。

田中ソロウェイ明美様ようこそお越し下さいました。

大師の例会を楽しんで下さい。

白石　浩司　会員

母の葬儀に際しましてお世話になりました。

有難うございました。

水口　衛　会員

あっという間に入会して 10 年が経ってしまいました。

この先何年続けられるかわかりませんが宜しくお願い致します。

先日のポスター貼り参加の皆様お疲れ様でした。

横山　俊夫　会員

本日は卓話させていただきます。

岩井　茂次　幹事

いよいよ残り３カ月となりました。皆さん元気に笑顔で竹中年度を盛り上げて共に楽しみましょう。

竹中　裕彦　会長

１．横山さん、渡辺さん、卓話楽しみにしております。

２．矢野さん、先週のお花見移動例会盛り上がりましたね。お疲れ様でした。

３．水口さん、チケットありがとうございました。さすがにまだ寒かったです。

ヤクルトファン３人とタイガースファン２人で酒ばかり飲んでました。

本日のニコニコのテーマ

横山俊夫　会員、渡辺冨士夫　会員

本日の卓話宜しくお願い致します。

鈴木　幹久・髙濵　玲奈・矢野　清久・坂東　保則

大藪　善一・出井　宏樹・中村　眞治・中村　孝

野沢　隆幸・松井　和晃・鈴木　昇二・布川　二三夫

遠藤　悦弘・石渡　勝朗・内田　省治　　各会員

会員卓話　　**横山　俊夫　会員**

先ずは自己紹介をします。横山家の長男として、１９５３年（昭和２８年）１１月１１日　現在地に生まれる

さそり座のＯ型。母の話によると、お産婆さんが来る前に出て来たそうで、かなり気が早い性格なのか？

小学校時代は、やんちゃ坊主で勉強は学校でするもの、帰宅すれば友達と沢山遊び放題。そんな６年間でも中学受験をし、日本大学中学校・高校・大学と進む。そして気が付いたら家業の生花店（花紋）の３代目として後を継ぐようになっていた。

どおりで学生時代、自由にさせてくれたのかと後で分かった。

平成４年に代表取締役に就任し現在に至る。この間３０歳で結婚、現在は娘・息子の４人家族（毎日が楽しい）

結婚と同時期に川崎青年会議所（ＪＣ）に入会、毎晩遅くまで青春の居酒屋？また、子供が小学校入学と同時に川崎市立宮前小学校（親子３代通う事となる）ＰＴＡ活動に参加、会長も務めた。同時期に川崎区ＰＴＡ協議会会長・川崎市ＰＴＡ連絡協議会副会長も務め、４７歳で川崎大師ロータリークラブ（ＲＣ）入会。（ＪＣ１０年・ＰＴＡ８年・ＲＣ現在１４年）娘が、お父さんは横文字が好きなの。好き！

娘が小学校６年生の時、ＰＴＡ会長として祝辞をするに当たり、卒業生全員に語るのではなく、娘に語りかけたかった。１８年たった今でも、部分的には娘は覚えているそうです。良かった！

また小学校で息子は、父親が会長なので、当時のあだ名は社長・・・これまた良くつけたものだと友達たちに感心した。同級生と会うと今でも言われるそうです。（本当の社長には何時なるのと・・・４代目）
現在でも川崎区ＰＴＡ協議会ＯＢ会会長として、現役ＰＴＡを側面から支えています。（ＰＴＡ活動は楽しかった）

さて、自分の事はこれくらいにして、ここからは本業の花屋に関する事を少しお話いたします。
日本の詫び寂と花文化・・・日本の花文化は「迎え花」（自分の為や家の為では無く、人をもてなす為、或は人の為の文化）と言える。
室町時代以降、茶人・僧侶から始まった華道「いけばな」は武人の嗜みとなり、江戸時代には豪商を起点として町人文化に広がった。花需要の広がりに合わせて、やがて花を売る者が現れる。が、明治時代になっても花屋は、まだ店持ちは少なく、天秤棒で両脇に吊るした籠に花を載せて行商に出るのが一般的で、店を構える花屋が目に付き始めたのは、明治末期から大正期にかけての事である。
当時のいけばな需要はまだ花屋の主役には至らず、そのころの主な需要は、「お三日」と呼ばれる物日で、毎月１日・１５日・２８日に、神棚や仏前に供える榊や仏花が中心的な商品であった。このころから花屋は文化慣習の重要な伝承者であった。
その後、花屋は「いけばな」（池坊が５５０年の歴史）を習い、その技術でそれぞれの得意先で、活け込みをしながら花を売るようになった。花屋は活ける技術を消費者に伝えながら、販売促進を行い、自然に販路の拡大を行った。
大正中期以降、池坊から分派した諸流派が活発に活動し、「いけばな」は庶民に広がり、花屋は素材やの側面を強く表した。
第二次世界大戦後、女学校を中心に「いけばな」が教材に取り入れられ、花屋の成長は加速する。

しかし、高度成長期から、バブル期にかけて、人々の贈り物に対する考え方が変化し、現代社会においては、冠婚葬祭や企業間のフラワーギフトを代表とする「義理の花」に。そして「花の心」のうすれた人達が目先の数字だけを追って、目先の提案だけを繰り返してきた業界と言えよう。高度成長期からバブル期の過程では、「贈り物」の花、フラワーギフトが大きなビジネスチャンスとなった。が、ただ勢いだけに乗って拡大をしてきた業界と言える。
日本の文化を象徴する「いけばな」は約２０年前をピークに全ての流派（約２６５流派）が門弟数を落とし、その結果「いけばな」により節句の花飾りなどの伝統的習慣を教育されて家庭を飾ってきた賢母が減り、文化慣習を知らない「若いお母さん」の家庭が増え、ここ数年は３月節句の桃・５月節句の菖蒲をはじめ正月花の需要さえもかなりの落ち込みが見られる（これでいいのかと・・・）。
「いけばな」が我が国の花消費の支えとして重要な役割を持っていたと云えましょう。つづく、　次回卓話あれば花の贈り方・お花クイズなど

渡辺　冨士夫　会員

私は生れたのは福島県の石川町という処でございます。小さな田舎町でございます。東電の原発の所から丁度 50 キロの処ですので避難区域にはなっておりませんが、まだまだ人口が減少している状況でございます。町の人口は１万７千名位でございますが、非常にそういう面では原発の影響で、やはり放射能の影響で、何とも放射能が見えないという事が。　また無臭でもあり、触っても刺激はないけれども、将来的には大きな問題が生じるという事で、やはり子供たちについては、非常に不安を持ち生活しているようでございます。この件ついてやはりまだまだ何十年も問

題は解決しないのかなと言う気でおります。

福島の実家は土建屋をやっておりました。私の父親は 3 代目で土建業を廃業致しました。偶然その時期に私が高校を卒業する時期でしたので、卒業して川崎に出て来るようになりました。川崎に出てきたお蔭で、このような形で皆様とお会いできた事については大変嬉しく思っております。

また、小さな町であるが、大変野球が盛んな町で、私は小学校から、中学校、高校の時にずっと野球をやっていました。学校は福島県の石川学校法人石川高等学校を卒業しております。私の時代では、甲子園なんて夢のまた夢でした。けれどもやはり、ある時になって、日大を卒業した柳沢監督が学法石川の監督になりまして、約十何年かかりましたが、昭和 51 年の春に初めて、甲子園選抜出場になりました。春夏を合わせて 9 回出場しましたが、此処のところ約十年は全く出場する機会はございません。という事はやはり柳沢監督が亡くなってから、学校の方針もあるでしょうけども、如何にその監督が重要であることか痛感する処でございます。やはり企業もそうだと思います。トップが変れば企業も変わるという位、監督は特にそういう面では指導力、情熱、此れを持った者じゃないと、中々甲子園に行く事は難しい、今日は春の甲子園の決勝戦をやっております。北海道の東海大四校、それから福井の敦賀気比が今やっていると思いますけれども、昨日敦賀気比が大阪の優勝候補の桐蔭学院を破りましたけれども、私は北海道の東海大四校が優勝するんじゃないかとこのような形で予想をしておきます。予想は当たりませんけれども、私はそう思っております。

私は 32 年に川崎に来まして、日本鋼管株式会社に入社致しました。日本鋼管は今 JFE ですか、名前も変わっておりますけれども、この日本鋼管に 20 年 8 か月勤めましけれども、人間性はこの時に作られたのかなという気持ちで考えております。そういう面では今でも日本鋼管に感謝をしているところがございます。この日本鋼管でどうしても一つ忘れられない事があるんですけれども、それは昭和 40 年頃、どこの企業もそうでしたけれども、産業改善やサクール活動が大変盛んな時期でありました。その時偶然そういう事の提案をしたものが年間で大変優秀であったという事で、昭和 41 年に日本鋼管の丸の内の本社で社長に表彰されました。その時の会社の成果としては、月額 2 千万位、年間で 2 億円以上の成果があるというお話でございました。それで、その時に頂いたのは銀杯と表彰状です。

日本鋼管に 20 年 8 か月勤めましたが、昭和 51 年に退職致しまして、今度は不動産業に入りましたが、全く不動産業の経験はありませんでした。それで 3 年間見習いをして、それから 53 年に独立しましたけれども、独立したと言っても、自宅の一角に事務机と電話がある位で、それで商売を始めたわけです。丁度 48 年頃の田中角栄総理大臣は日本列島改造運動ですか、年間 30%も不動産は値上がりした時ですので、その後景気が低迷したですけれども、それが 60 年になって、バブル景気になりました。このバブル時期には国民総不動産屋と言われる時代でした。先ず一般の企業も含めて土地転がしに迷走しました。その時に偶然新橋に私のオーナーが 20 坪の土地を持っていました。木造で売れるような物件かなと思いましたら、売り出したら 2 億 2 千万円で売れたんです。2 億 2 千万で買ったのが次は 4 億の抵当がついていました。どれ程皆さんは転がして利益を上げていたのか予想がつきませんですけれども、そんな事がありましてやはり国が動きだしました。それは金融の総量規制をしまして、不動産業と建設業には土地の融資をするなと言うような通達がありまして、もう一つは不動産の取引をする前に、売買をする前に 100 平米、30 坪以上の土地でも、家でも、全て届出をしまして、役所の適正な価格じゃないと契約が出来ないという時期がございました。これは大変な時期で、買った値段で売れないのが現況でした。その時土地は大変な暴落をしまして、川崎市の窓口が並ぶ程申請していました。不動産業者も全国零細ですので、私が全国的に役員をやっていました（不動産業者が倒産する羽目になりました）。200 万円で買ったものが一坪 100 万円でも売れなくなってしまったんです。そういう面では大変な状況であったのかなと言う形で思っております。偶然私はそういう形でいましたが、今まだ土地の値上がりはしませんけれども、なんらかの形で日本経済が発展しないからなのか、それとも所得が伸びないからか、さ

もなければ日本の人口減少か少子化があるからかなという事を思いながら、考えて行かなくちゃいけないのかなと言う形で思っております。

それから私が不動産業に入りまして約 40 年近くになるんですけれども、こういう形で出来たという事、私の性格的にも不動産業が非常に合っていました。また私も好きでした。だから一生懸命やりました。それでこれについて何か不動産業界に還元するものはないかなという形で考えた時に、不動産業界で役員をする考えになりました。それで、川崎区南支部の支部長を 6 年やりながら神奈川県の宅建協会の本部で理事、常務理事、監事と 12 年間に渡り、業界に還元する役員をやって参りました。年令的に考えて、2001 年にこの大師ロータリーグラフに入会させて頂きました。中々皆様と馴染む機会が少なかったのですけれども、2007 年の野沢会長の時に島岡さんと竹田さんと一緒に役員をさせて頂きながら、非常にそのロータリーアンの心の優しさと皆さんに接するいろいろな面で教えて頂き、現在があるかなという形で思っております。また、ロータリーの良い処は、私の年令的な事を考えると非常に友達が少なくなりました、77 才になりますと同級生も半分になってしまいました。そういう事を考えた時に、このロータリーで毎週こういう形でお会いできる事は私にとっては非常に在り難い時間です。そういう事を考えながら今後とも一つよろしくお願いいしたいと思っております。

最後になりますが、私の運の良さと言うか、ゴルフを始めて 38 年になりますが、ホールインワンを 3 回しました。これは運がいいだけなんです。これからゴルフももう一つの目標として自分の年令以下でフレイできるようなエイジショートを目標として一生懸命頑張って行きたいと思っております。

次回例会 4 月 15 日（水）
卓話　　山田　堅太　様

中村 孝／増田 昌美／牛山 裕子／内田 省治
永松 慎太郎／竹中 裕彦／水口　衛／須山 文夫

スケジュール予定

4 月 29 日　昭和の日にて休会
5 月 6 日　振替休日にて休会